令和８年度第３回岐阜市市政モニター
「ぎふＣＩＴＹウォッチャーズ」
調査結果

テーマ

・環境に関する意識調査について

目次

1　調査目的
2　調査期間
3　調査項目
4　回答者属性
5　結果の概要
6　項目別の結果
7　今後に向けて

お問い合わせ先

・環境に関する意識調査について…環境政策課
TEL：058-214-2175／MAIL：kankyo-sei@city.gifu.gifu.jp

1　調査目的

・環境に関する意識調査について
① 市民の皆様の環境に対する意識や行動等について把握するために調査を実施。
② ①の結果を参考に市の環境政策における指標の進捗を測定するとともに今後の取り組みの参考とする。

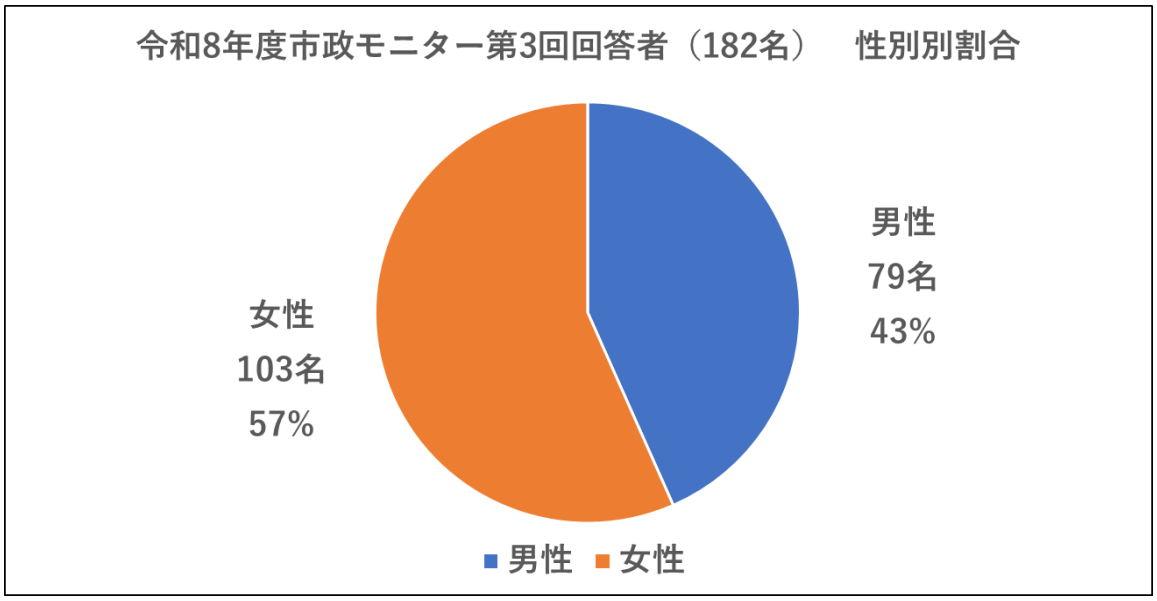
2　調査期間

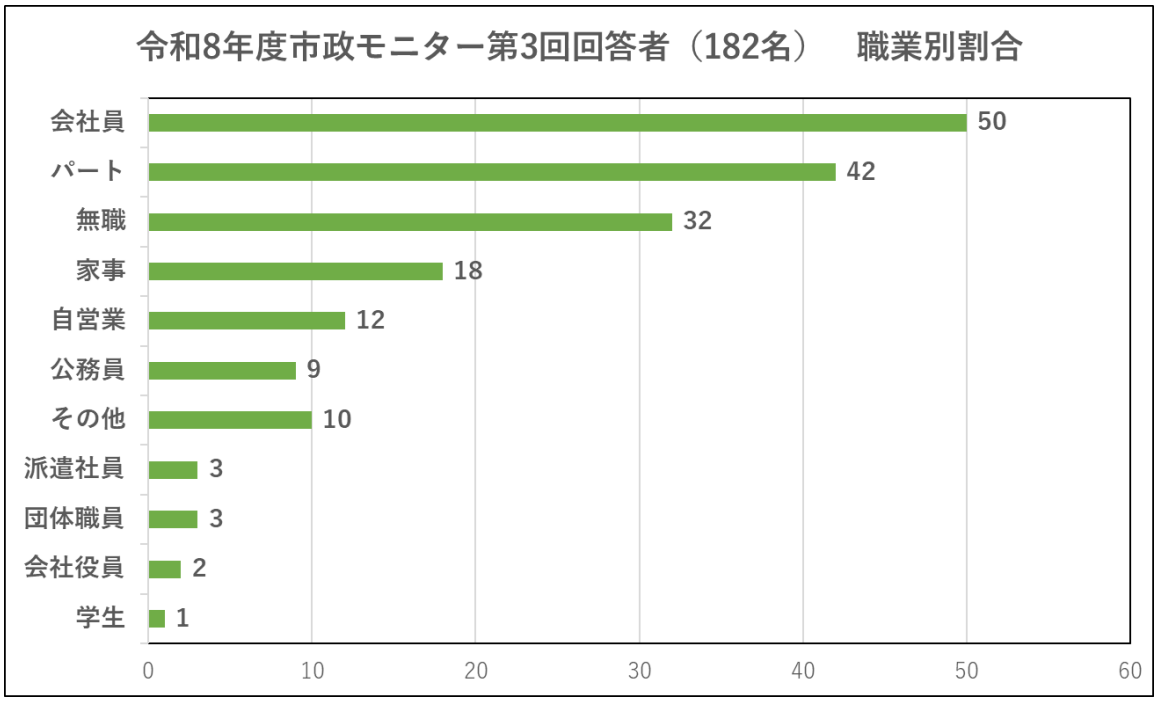
令和8年9月11日(金)～9月25日(金)

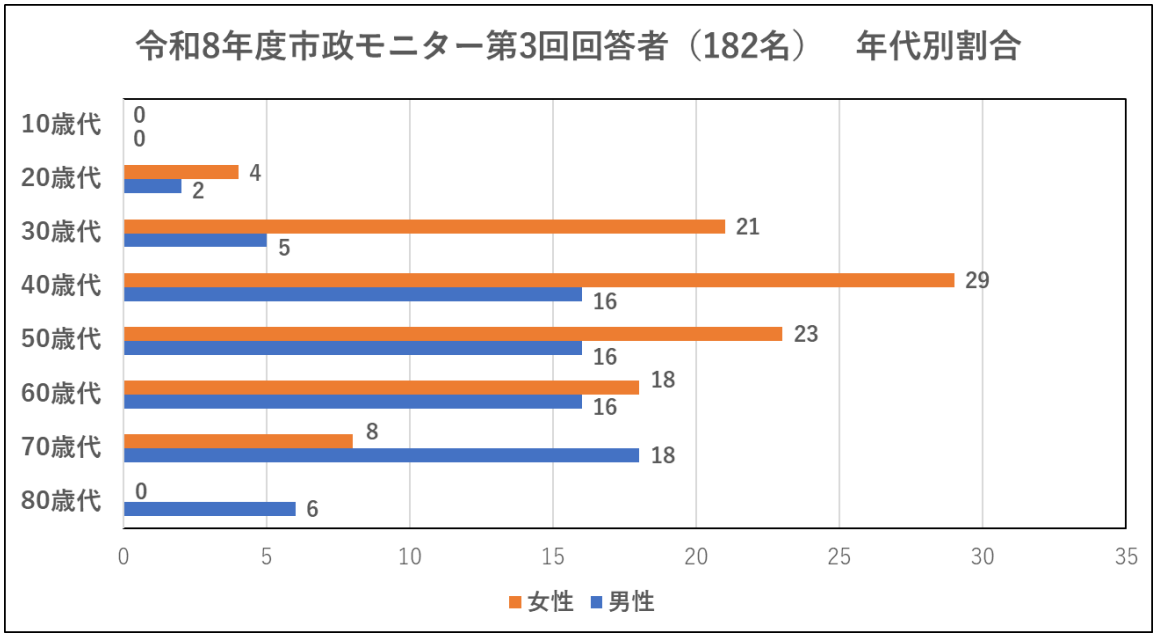
3　調査項目

・環境に関する意識調査について（問1～問9）

4　回答者属性


令和8年度市政モニター第3回回答者（182名）　性別別割合
男性
79名
43%
女性
103名
57%
男性
女性


令和8年度市政モニター第3回回答者（182名）　職業別割合
会社員 50
パート 42
無職 32
家事 18
自営業 12
公務員 9
その他 10
派遣社員 3
団体職員 3
会社役員 2
学生 1
0
10
20
30
40
50
60


令和8年度市政モニター第3回回答者（182名）　年代別割合
10歳代 0 0
20歳代 4 2
30歳代 21 5
40歳代 29 16
50歳代 23 16
60歳代 18 16
70歳代 8 18
80歳代 0 6
0
5
10
15
20
25
30
35
女性
男性

５　結果の概要

多くのご回答をいただき、ありがとうございました。

「質問２.身近な生活の中で、地球温暖化対策に役立つ行動（例：節電・節水）に取り組んでいますか。」の問いに対し、「いつも取り組んでいる」または「ときどき取り組んでいる」と回答された割合は全体の 84%でした。そのうち 91%が「節電・節水」に、56%が「省エネ製品の購入」に、それぞれ取り組まれており、相当数の方が身近な取り組みを意識して行っていることがわかりました。

また、**「質問３.雑がみの分別や生ごみの減量、マイバックの利用など、ごみ減量に取り組んでいますか。」**の問いに対し、「いつも取り組んでいる」または「ときどき取り組んでいる」と回答された割合は全体の 98%と非常に高い結果でした。そのうち 91%が「プラスチック製容器包装の分別」に、85%が「マイボトル・マイバックの利用」に、78%が「雑がみの分別」に、それぞれ取り組まれており、ごみ減量の活動が浸透していることがわかりました。

しかし、**「質問４.河川の清掃や植樹活動への参加など、自然を守る取り組みをしていますか。」**の問いに対し、「している」または「ときどきしている」と回答された割合は全体の 21%、**「質問５.環境学習（環境教育）をしていますか（しましたか）。」**の問いに対し、「している」または「ときどきしている」と回答された割合は全体の 23%に留まり、先の 2 つに比べて、実践している方の割合が低い結果でした。

この結果から、今後は、**「自然を守る取り組み」「環境学習（環境教育）」**について特に力を入れ、周知や参加促進に取り組むことが必要であると考えております。

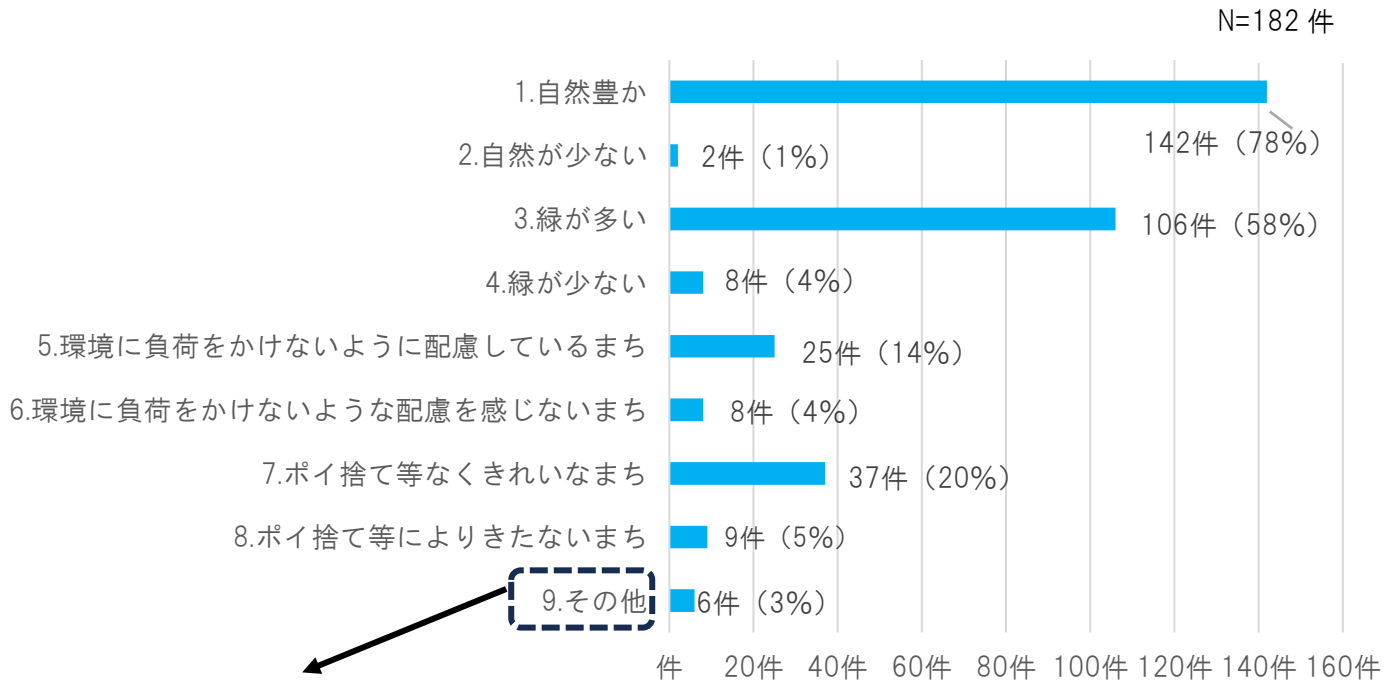
さらに、**「質問６．スマートフォン向け岐阜市ごみ分別アプリ「さんあ～る」を知っていますか。」**の問いに対し、使っていると回答された割合は全体の 10%に留まりました。また、**「質問８．あなたはごみの分別や収集日に関する情報を、主にどのような方法で確認していますか。」**の問いに対し、82%が「岐阜市　ごみ出しのルール」で確認しており、多くの方はごみ分別や収集日に関する情報を「岐阜市ごみ出しのルール」から得ていることが分かりました。

この結果から、今後は「さんあ～る」などデジタルツールの利用促進や周知にも努めていきたいと考えております。

６　項目別の結果

環境に関する意識調査について（問 1～問 9）

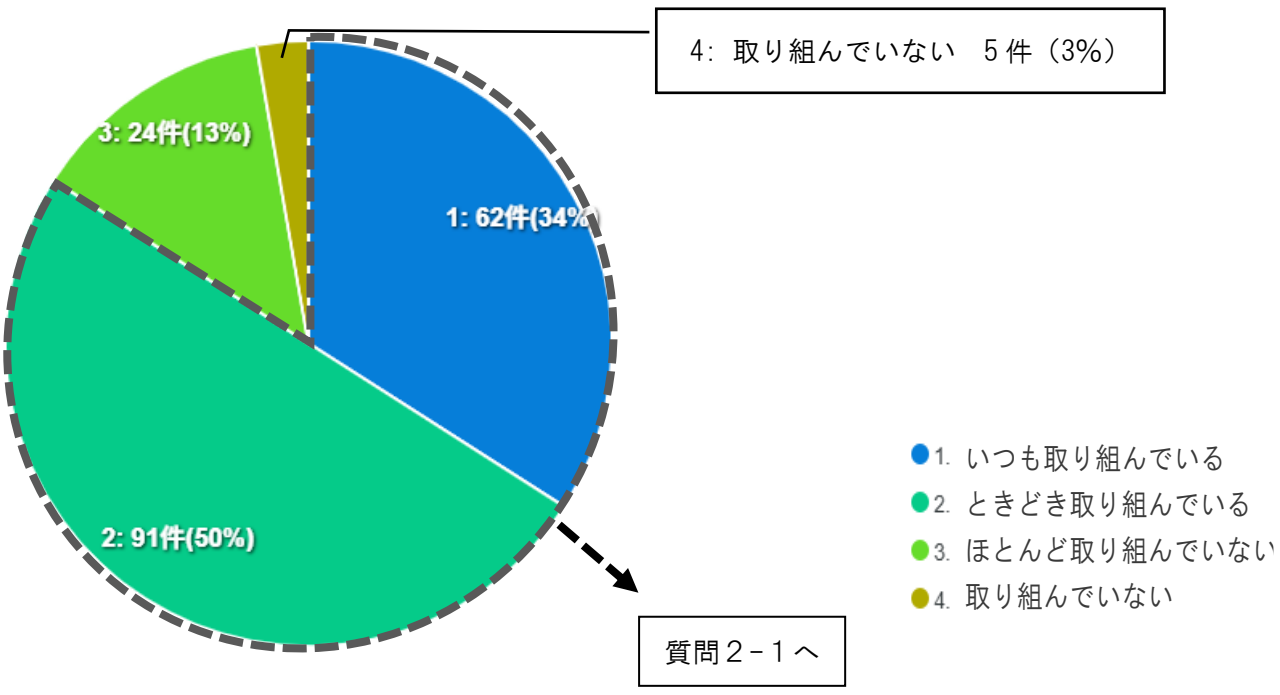
質問１．あなたは岐阜市の環境について、どんなイメージをお持ちですか。（複数回答可）



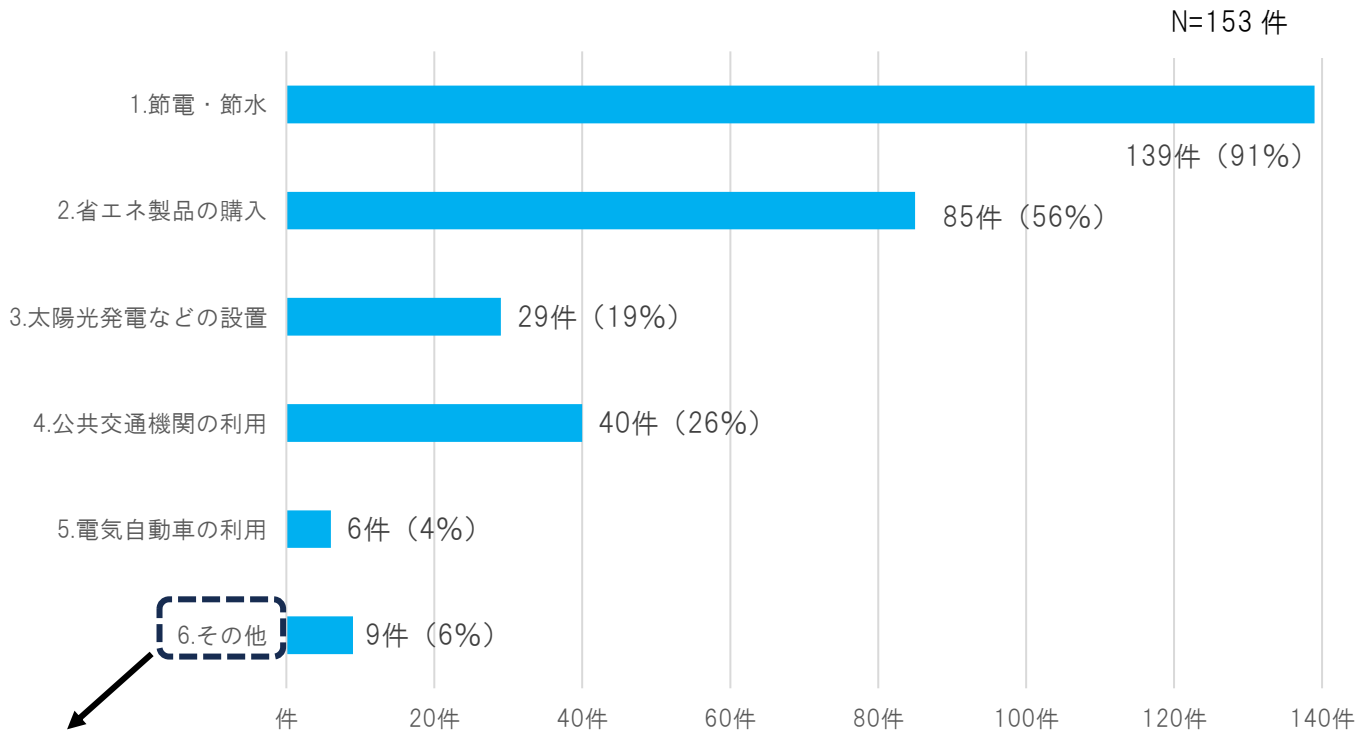
■その他（抜粋）

・環境について特別取り組みをしているとは感じない街

質問２．あなたは身近な生活の中で、地球温暖化対策に役立つ行動（例：節電・節水）に取り組んでいますか。



質問２－１．質問２で「いつも取り組んでいる」「ときどき取り組んでいる」を選択した方にお聞きします。あなたが行っている、または行った取り組みを教えてください。【あてはまるもの全て】

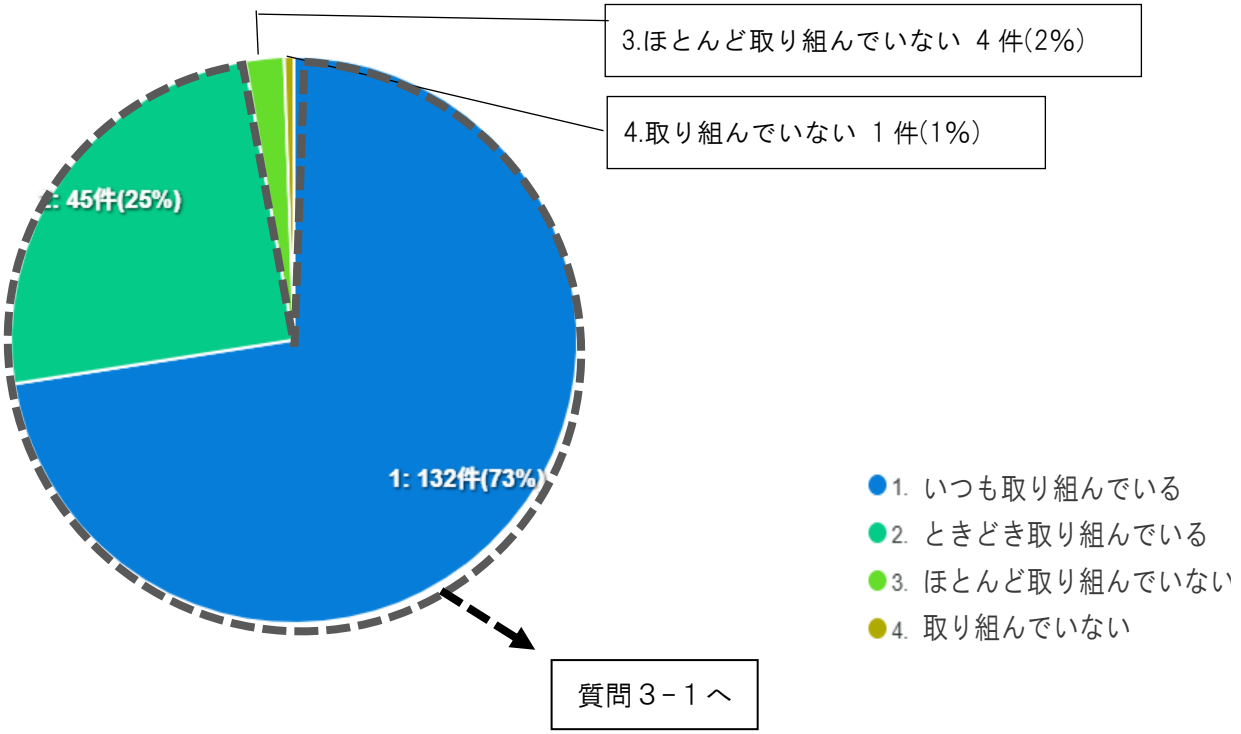


■その他（抜粋）

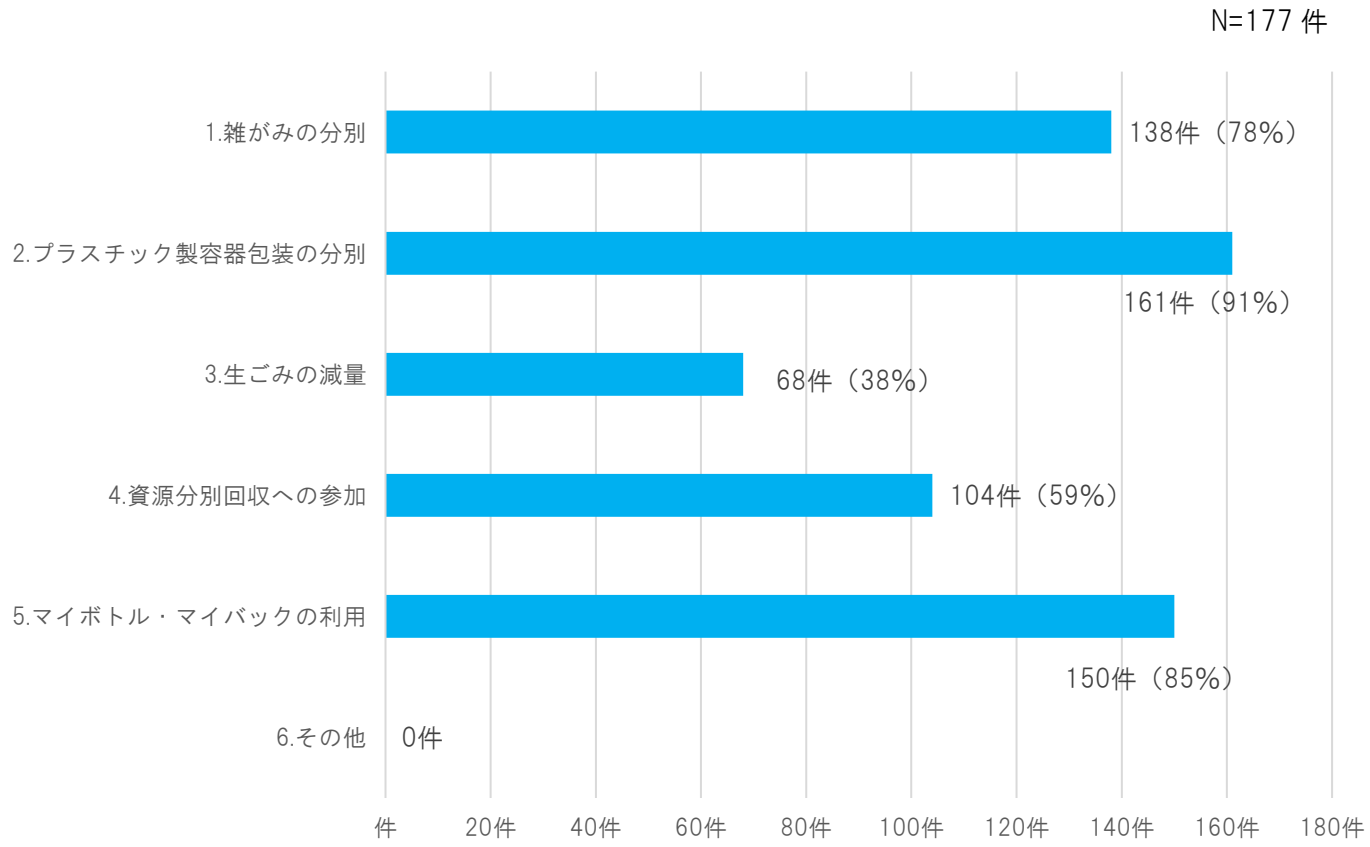
・自転車の利用

・ＺＥＨ住宅を選択

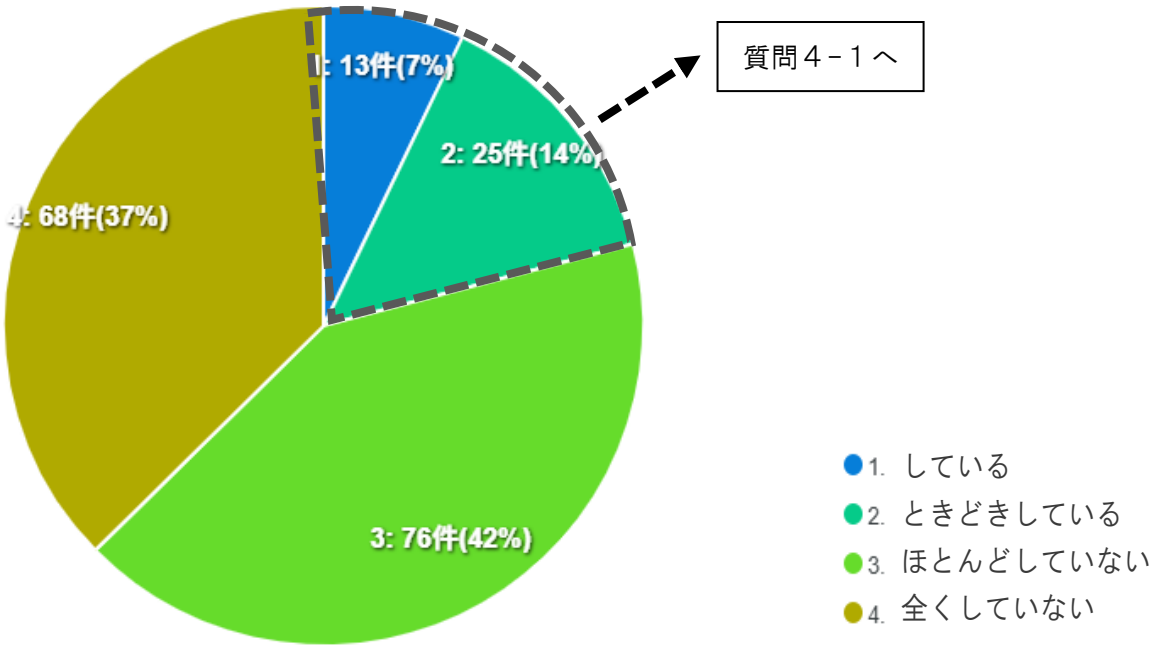
質問３．あなたは雑がみの分別や生ごみの減量、マイバックの利用など、ごみ減量に取り組んでいますか。



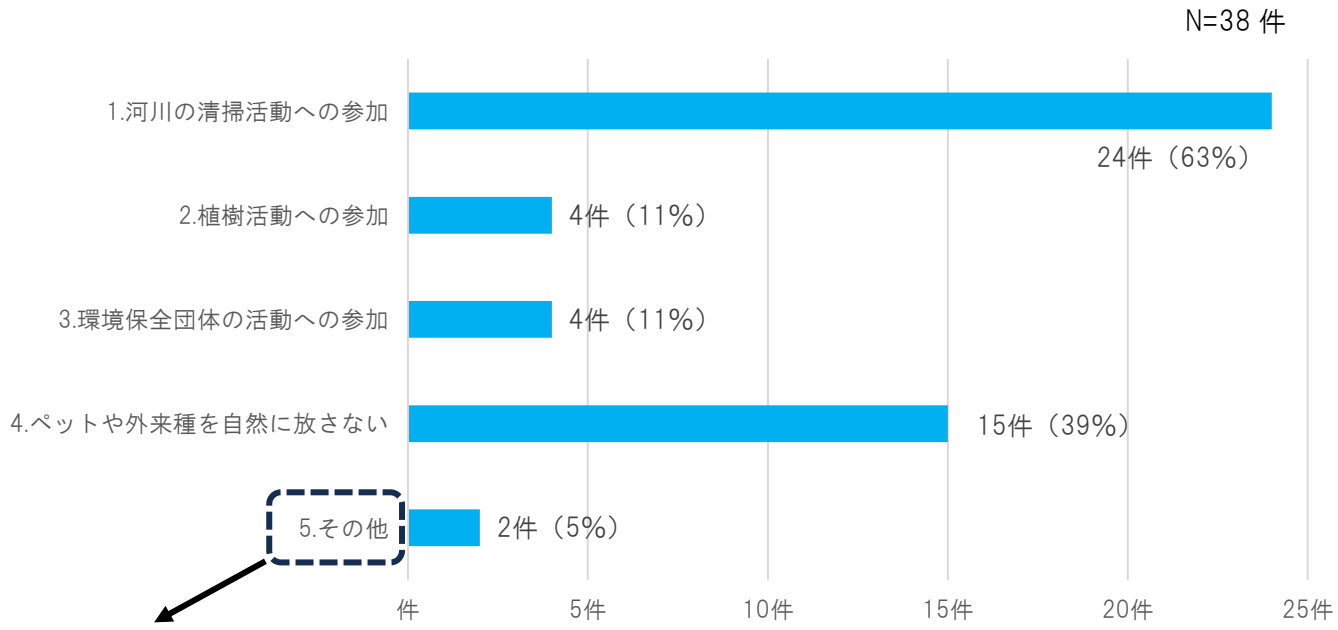
質問３－１．質問３で「いつも取り組んでいる」「ときどき取り組んでいる」を選択した方にお聞きします。あなたが行っている、または行った取り組みを教えてください。【あてはまるもの全て】



質問４．あなたは河川の清掃や植樹活動への参加など、自然を守る取り組みをしていますか。



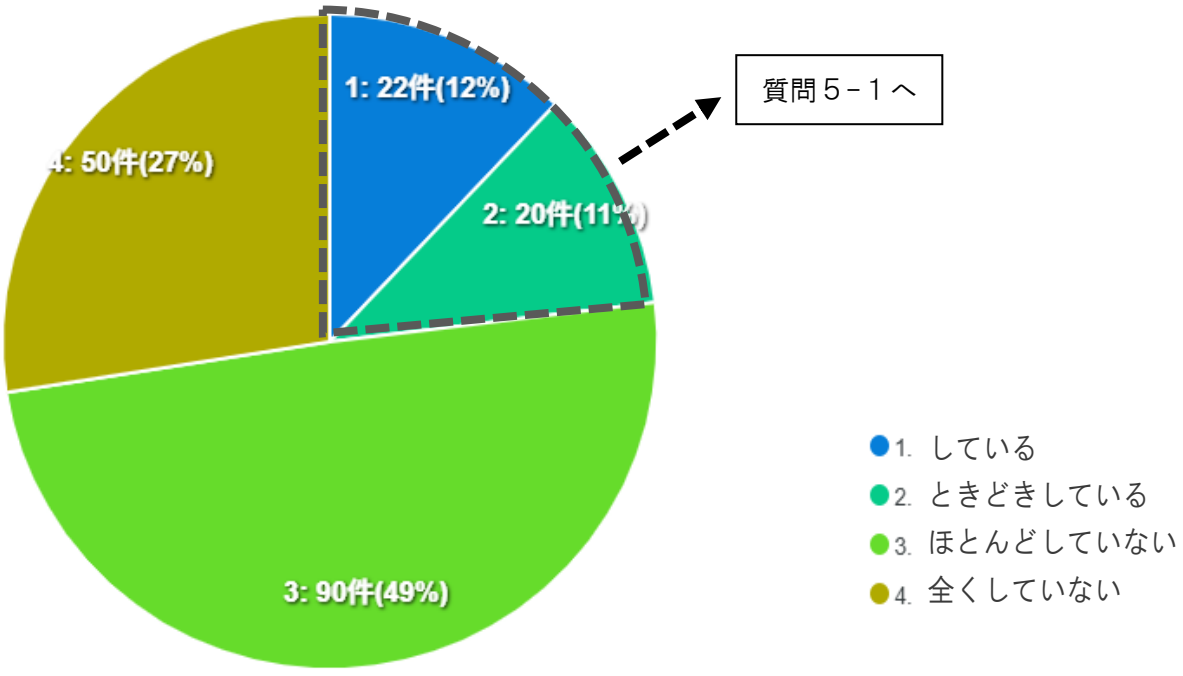
質問４－１．質問４で「している」「ときどきしている」を選択した方にお聞きします。
あなたが行っている、または行った取り組みを教えてください。【あてはまるもの全て】



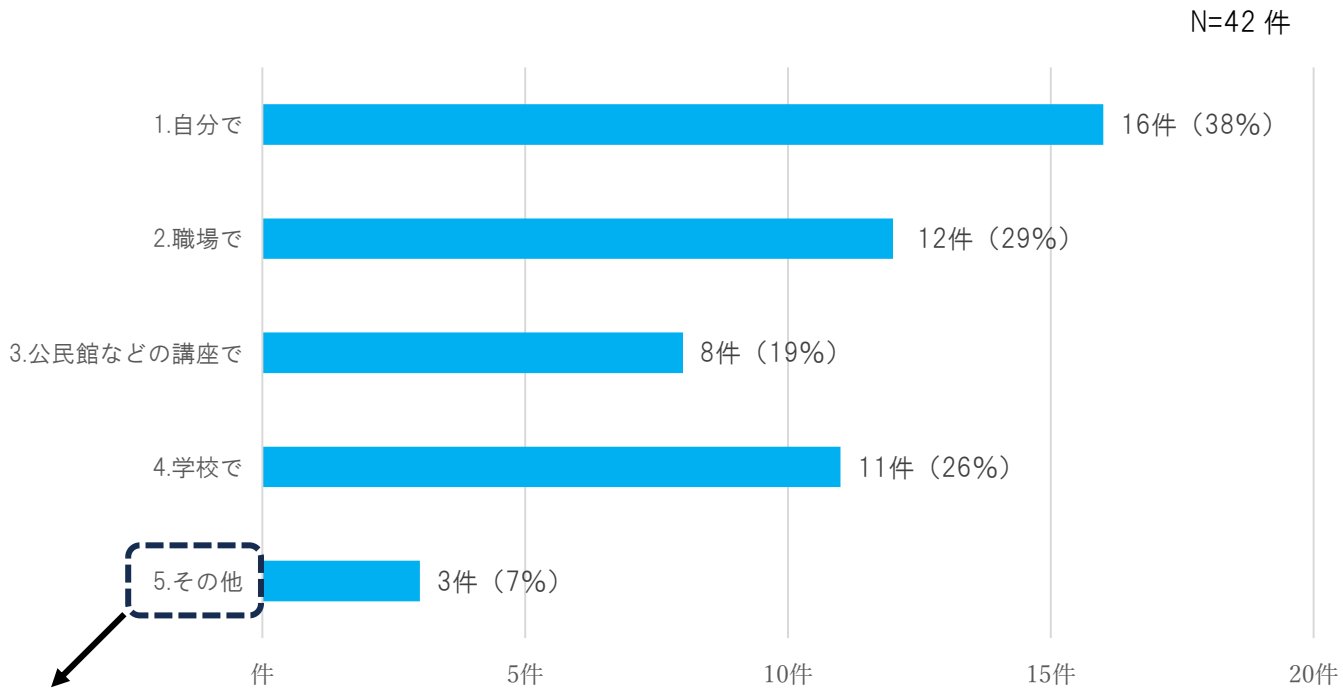
■その他（抜粋）

・河原などに釣りで発生したゴミを捨てない

質問５．あなたは、環境学習（環境教育※）をしていますか（しましたか）。
※環境学習（環境教育）とは家庭･学校･職場･地域などで、環境と社会のつながりや、環境の保全について理解を深める学習や教育を指します。



質問５－１．質問５で「している・した」「ときどきしている」を選択した方にお聞きします。
あなたはどこで環境学習をしていますか（しましたか）。【あてはまるもの全て】

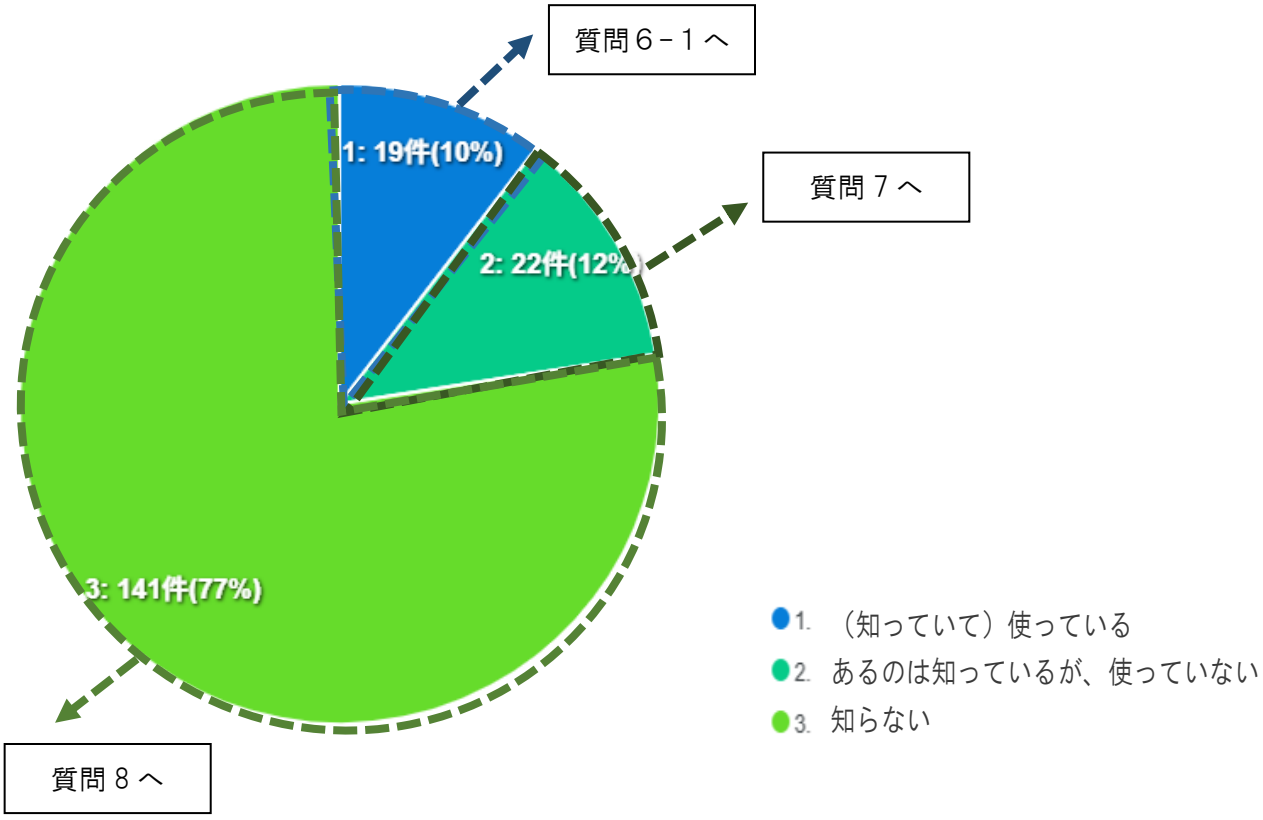


■その他（抜粋）

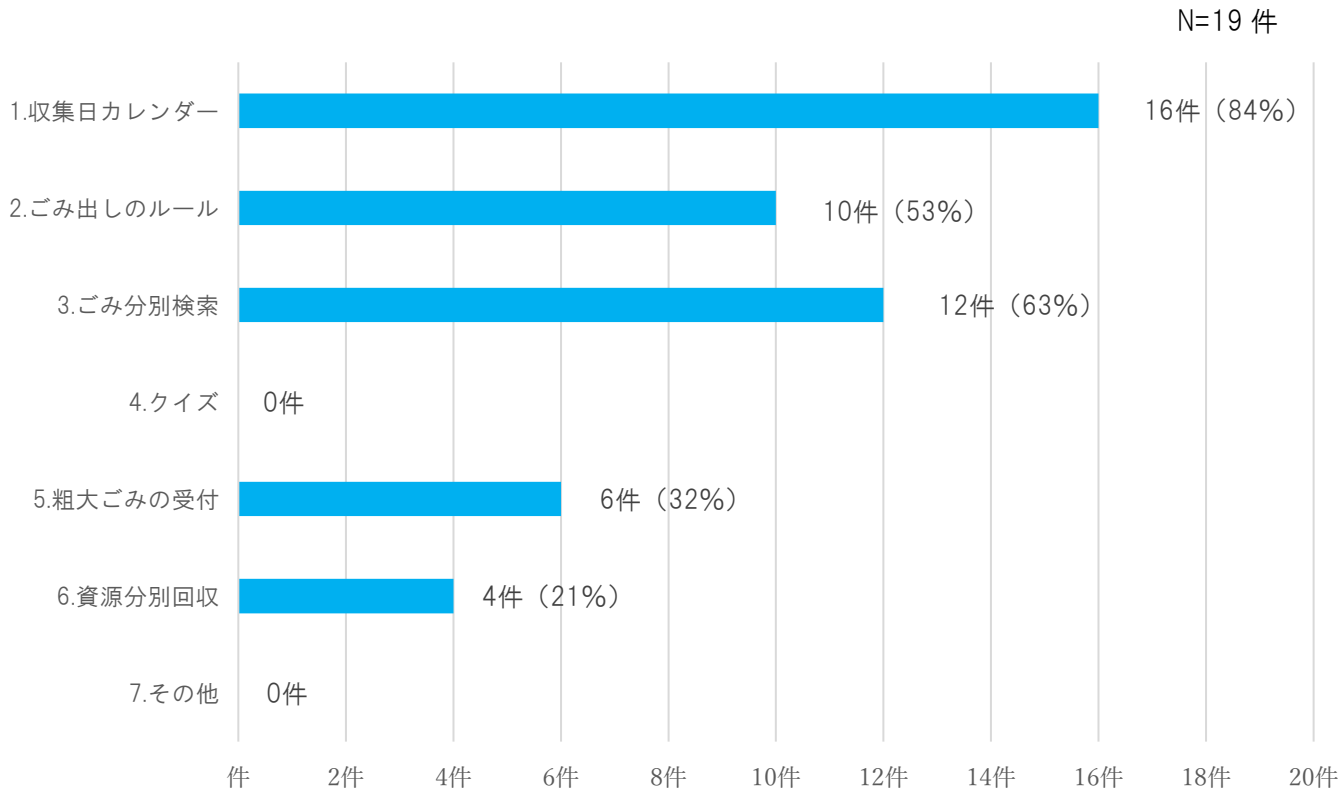
・地域のサークル活動

・放送大学

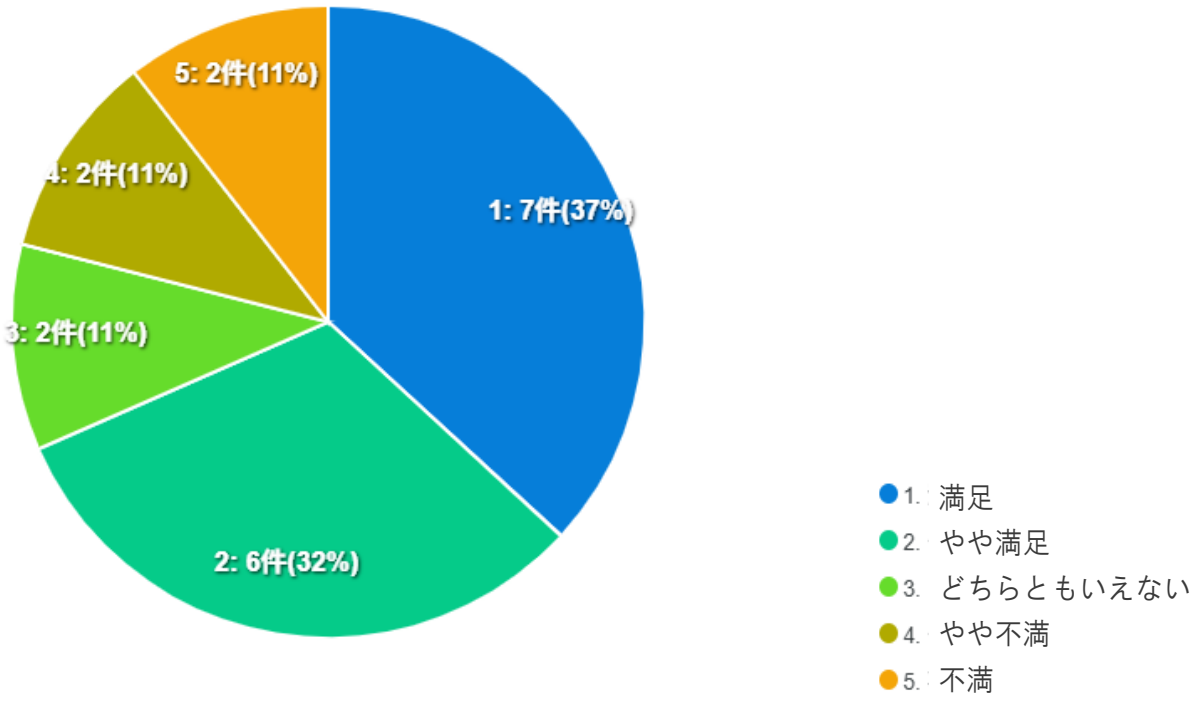
質問６．あなたは スマートフォン向け岐阜市ごみ分別アプリ「さんあ～る」を知っていますか。



問６−１．質問６で「(知っていて）使っている」を選択した方にお聞きします。
あなたが利用しているのは「さんあ〜る」のどの機能ですか。【あてはまるもの全て】



【質問６−２】あなたの「さんあ〜る」の満足度を教えてください。

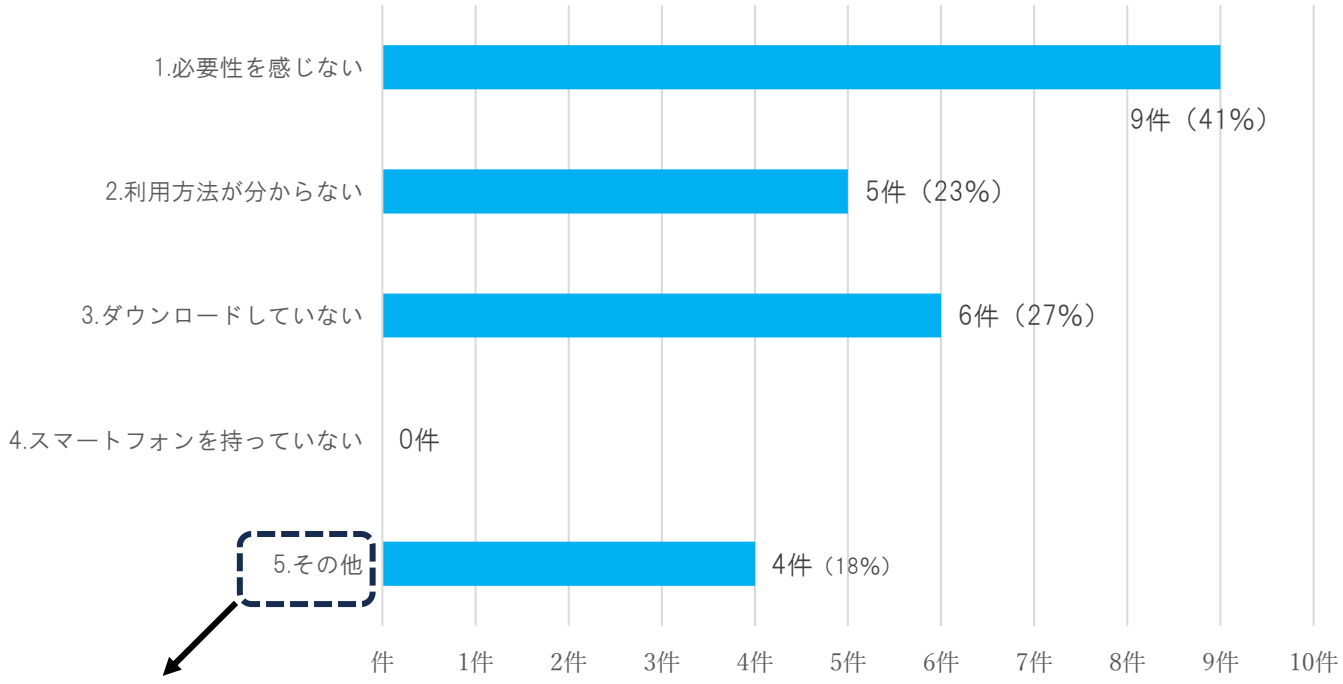


【質問６−３】質問６−２で回答された理由をお聞かせください。（自由記述・任意）

・毎回生ゴミプラスチックビンカンと分別のお知らせが来るので安心して当日に出せる
・粗大ゴミの受付に簡単に飛べるのでよい
・対象物がどの分別になるかの検索が分かりづらい。検索でヒットしない物がかなりある印象。AI を活用して曖昧検索やスマホカメラなどによる画像検索の取り込みを希望
・実際のごみのステーション管理は自治会の仕事だが、そこの情報と連携がないので実際の生活に寄与していない
・PR 不足ではないか。

【質問７】質問６で「あるのは知っているが、使っていない」を選択した方にお聞きします。
「さんあ〜る」を利用していない理由を教えてください。

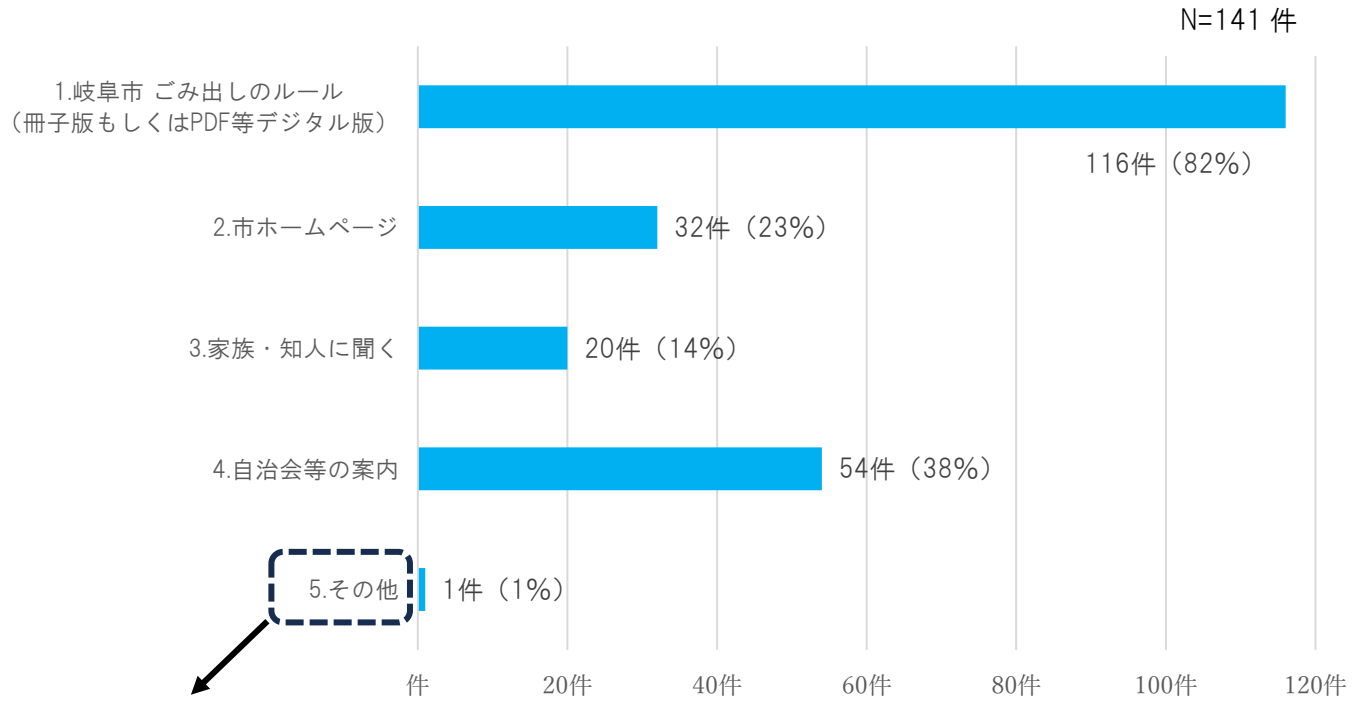
N=22 件



■その他（抜粋）

・アプリを探すより Google で検索した方が早い
・何をできるのかわからない

【質問８】質問６で「知らない」を選択した方にお聞きします。
あなたはごみの分別や収集日に関する情報を、主にどのような方法で確認していますか。



■その他

・回収日はいつも同じなので特に確認することもなく当然のように日にちを把握している

質問９．岐阜市の環境への取り組みに対する思いなど、自由にお書きください。（任意）

※抜粋※

【脱炭素化に関すること】

・環境については、今すぐに目に見えることだけでなく、メリットとデメリットを広く深く検証して考えていく必要があると思う

【循環型社会に関すること】

・ごみ袋が高すぎる
・ごみ有料化によって、不法投棄が増えないか心配
・有料化もやむを得ないと思っている。子供の頃から分別を意識できるようにしてほしい
・市民の意識は自治会以外の方には伝わっておらず不法投棄や出し方が汚いなど困る

【自然環境に関すること】

・環境への取り組みに関して、これからもある程度、関心を持ちながら、金華山と長良川の街である岐阜市を大切にしていきたい

【その他】

・通り一遍の環境への取り組み。独自性が求められるものでもないとは思うがあまりに平凡でインパクトが無い。もっとアプローチの仕方を変えるべきではないか
・環境に配慮した取り組みを進めることは大切だと思うが、一方で、市民の生活における利便性や負担についても、同時に考慮していただきたいと思う。環境への配慮を重視するあまり、日常生活に過度な不便や負担が生じることのないよう、環境と利便性のバランスを考えた取り組みを進めてほしい

7　今後に向けて

本市では、「岐阜市環境基本条例」に掲げる基本理念と基本原則のもと、「岐阜市環境基本計画」に基づき、「環境と調和する、人にやさしい都市岐阜」の実現に向けて、脱炭素化の促進、循環型社会の構築、自然環境の保全、生活環境の確保、環境教育・市民協働の推進に取り組んでいます。

今回の調査では、地球温暖化対策に役立つ行動に取り組んでいる方の割合は 84%、ごみ減量に取り組んでいる方の割合は 98%を占め、多くの市民の皆様が日常生活の中で環境に配慮した行動を実践されていることが分かりました。特に、節電・節水やごみの分別、マイボトル・マイバッグの利用など、身近な取組が広く定着していることがうかがえます。

一方で、河川清掃や植樹活動など自然環境を守る取組への参加率は 21%、環境学習に取り組んでいる割合は 23%にとどまりました。また、ごみ分別アプリ「さんあ～る」の利用率も 10%であり、市の環境施策や関連情報について、さらなる周知や理解促進が必要であることがうかがえます。さらに、自由意見では、市の環境施策の周知や情報発信を充実してほしいとのご意見もいただきました。

こうした結果を踏まえ、今後は環境イベントや地域活動への参加機会の充実を図るとともに、環境学習の場の提供や情報発信を強化し、市民の皆様が環境問題を自らの生活に関わる課題として捉え、行動につなげられるよう取り組んでまいります。また、「さんあ～る」をはじめとしたデジタルツールの周知を進め、より便利に環境情報を取得できる環境づくりを進めてまいります。

今後も、市民・事業者・行政がそれぞれの役割を果たしながら協働し、豊かな自然環境を次世代へ引き継ぐとともに、持続可能な社会の実現を目指してまいります。

お問い合わせ先
環境部　環境政策課
TEL：058-214-2175／MAIL：kankyo-sei@city.gifu.gifu.jp